

## 2022年度防災訓練（再処理）における改善事項と今後の取組みについて

### 1. はじめに

2022年12月13日に実施した再処理事業部の原子力防災訓練では、再処理施設および廃棄物管理施設の同時発災を想定した訓練を実施した。その結果、昨年度の防災訓練で抽出した改善事項である、「通報文のチェック方法、記載内容に関する改善」や「COP資料等の更なる改善」、「オフサイトセンターにおける当社の活動内容の明確化」については、概ね改善が図られていることが確認できたものの、新たな改善事項が抽出されている。

今後、抽出された新たな改善事項については、見直しを図っていく。

本資料では、訓練で確認された主な問題点とそれに対する課題、原因および対策について示す。

### 2. 改善検討の進め方

#### 2-1. 主な問題点、課題の抽出

社内外コメント（訓練評価者による評価結果、訓練後の参加者振り返り、参加者アンケート、電力会社による評価結果等）から、問題点を抽出する。

さらに、それらの問題点を整理し、重要度が特に高いものは「主な問題点」とし、それに対する「課題」を抽出する。

#### 2-2. 問題点に対する要因分析、対策の立案

2-1. において抽出した問題点について要因分析を行い、原因を明らかにするとともに、対策を立案して今後の取組みを整理する。

### 3. 本訓練における新たな改善事項

前項に基づき整理した本訓練の主な問題点、課題、原因および対策は以下のとおり。

**【再処理事業部対策本部】**

No.	新たな改善事項	
1	<p><b>COP、ERC備付資料の改善</b></p> <p><b>【問題】</b></p> <p>① COP③（戦略シート）は、対策が失敗した場合のバックアップとなる対策とその見通しを記載する構成となっていなかった。</p> <p>② 社内情報シートは、重大事故対象機器のインベントリ情報を記載する構成となっていなかった。</p> <p>③ COP①-1（全体概要図）、COP②（設備状況シート）は、主排気筒の可搬型モニタリング装置の測定結果、外部取水源の使用可否の情報を省略していた。</p> <p>④ ERC備付資料は、水素濃度を測定する代表貯槽と他貯槽の関係を説明する資料を含めていなかった</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>① COP③（戦略シート）は、事象対処に対する第2、第3の矢とする明確な戦略が記載、共有できること。</p> <p>② 社内情報シートは、重大事故対象機器のインベントリ情報を共有できる構成であること。</p> <p>③ COP資料は、可能な限り必要な情報が記載、共有できること。</p> <p>④ ERC備付資料は、水素濃度を測定する代表貯槽と他貯槽の関係が確認できること。</p> <p><b>【原因】</b></p> <p>① 本部運用ガイドラインは、COP③（戦略シート）を取りまとめる事業部対策本部の目標設定会議について、現対策が失敗した場合の</p>	<p><b>【対策】</b></p> <p>① 本部運用ガイドラインに、事業部対策本部の目標設定会議において、現対策が失敗した場合の次なる対策と見通しを確認することを</p>

	<p>次なる対策と見直しを確認することを明記していなかったため。</p> <p>② 本部運用ガイドラインは、社内情報シートを作成、共有する事業部対策本部のブリーフィングについて、重大事故対象機器のインベントリ情報を確認、共有することを明記していなかったため。</p> <p>③ 主排気筒の可搬型モニタリング装置の測定結果、外部取水源の使用可否の情報は、社内情報シートに記載していたが、COP 資料との重複情報もあり説明に使用することが難しかったため。</p> <p>④ E R C 備付資料は、水素濃度を測定する代表貯槽と他貯槽の関係を説明する内容は含まれていなかったため。</p>	<p>明記するとともに、C O P ③（戦略シート）の構成を再検討する。</p> <p>② 本部運用ガイドラインに、事業部対策本部のブリーフィングにおいて、重大事故対象機器のインベントリ情報を確認、共有することを明記するとともに、社内情報シートの構成を再検討する。</p> <p>③ C O P 資料に、主排気筒の可搬型モニタリング装置の測定結果、外部取水源の使用可否の情報を追加する。</p> <p>④ E R C 備付資料に、水素濃度を測定する代表貯槽と他貯槽の関係を説明することを追加する。</p>
--	---	--

No.	新たな改善事項	
2	<p><b>通報文の記載事項の改善</b></p> <p><b>【問題】</b></p> <p>① 事業部対策本部が発信した警戒事態該当事象発生後の経過連絡は、重大事故対策の開始や問題点、対応状況等の情報が不足していた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>① 警戒事態該当事象発生後の経過連絡は、事故収束活動の進捗、問題点、対応状況等の情報が確認できること。</p> <p><b>【原因】</b></p> <p>① 本部運用ガイドラインは、警戒事態該当事象発生後の経過連絡の「発生事象と対応の概要」の記載について、事故収束活動の進捗、問題点、対応状況等の情報を記載することを明確化していなかったため。</p> <p>また、上記の情報を、追加資料等を添付する運用は定めていなかったため。</p>	<p><b>【対策】</b></p> <p>① 本部運用ガイドラインを修正し、警戒事態該当事象発生後の経過連絡について、事故収束活動の進捗、問題点、対応状況等の情報を記載するとともに、必要に応じ添付資料等を追加することを明確化する。</p>

**【全社対策本部（即応センター）】**

No.	新たな改善事項	
1	<p><b>ERCへの説明方法の改善</b></p> <p><b>【問題】</b></p> <p>① ERC対応者は、構外取水源の状況、アクセスルートの確認結果、放出予測等の情報について、積極的に説明できなかった。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>① ERC対応者は、COP資料では確認できない情報について、社内情報シートを活用して説明できること。</p> <p><b>【原因】</b></p> <p>① ERC対応者は、ERCへの説明内容、資料を整理したリストを作成、運用していたが、社内情報シートを十分活用する内容となっていなかったため。</p>	<p><b>【対策】</b></p> <p>① ERCへの説明内容、資料を整理したリストの内容を見直し、社内情報シートの情報を説明内容に追加する。</p>

No.	新たな改善事項	
2	<p><b>ERCリエゾンの対応に係る改善</b></p> <p><b>【問題】</b></p> <p>① ERCリエゾンがERC内に配布した資料の新旧変更点がわかりにくかった。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>① どのような主旨で配布するものなのかを認識しやすくすること。</p> <p><b>【原因】</b></p> <p>① 同じフォーマットで作成した資料を補足なく配布したため。</p>	<p><b>【対策】</b></p> <p>① ERCリエゾンが既に配布済みの資料と同様のフォーマットの資料を配布する際は、更新された箇所が容易に認識できるかを確認し、不足がある場合はマーキング等を行うこととする。</p>

#### 4. 今後の対応

前項で示した対策に取り組むとともに、個別訓練等において要員の習熟を図り、来年度の総合防災訓練までに対策の有効性を検証する。

以 上